

公開特許公報

特許 明 19

昭49年 7月 8日

特許庁長官 殿

発明の名称

セラミックトロウダシキャップ
放電灯用電極発明者 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
株式会社日立製作所千代田工場内

木崎 春作

方式

特許出願人
東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
株式会社 日立製作所
代表者 吉山 博吉
代理人 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
株式会社 日立製作所内
電話東京 270-3111(大代表)
氏名 07237 木崎 春作
49-077335

明細書

発明の名称 放電灯用電極

特許請求の範囲

W, Moなどの難燃性金属よりなる電極棒の周囲に、W, Moなどの難燃性金属よりなるコイルを巻きし、このコイルに熱電子放射物質を塗布接着せしめ、さらに周囲にW, Moなどの難燃性金属よりなるコイルを重ね巻きし、該コイル巻線の相互に接する部分を溶融接着させたことを特徴とする放電灯用電極。

発明の詳細な説明

本発明は水銀ランプ、メタルハライドランプ、高圧ナトリウムランプなどの高圧放電ランプの点灯中に発生する風化現象、並に放電開始電圧の上昇現象を防止した改良せる放電灯用電極を提供するものである。

上記高圧放電ランプは点灯中に電極がイオン衝撃を受けて飛散し、またイオン衝撃による電極の高溫化に伴う蒸発により発光管は風化現象を起して光束の低下をまねく。またこれら電極の損耗

(1)

-383-

⑯ 特開昭 51-6376

⑯ 公開日 昭51. (1976) 1. 19

⑯ 特願昭 49-77335

⑯ 出願日 昭49. (1974) 7. 8

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

6722 51

⑯ 日本分類

93 D03

⑯ Int.CI²

H01J 61/04

現象により電極エミッターの熱電子放射特性が劣化し放電開始電圧が上昇する。特に放電開始電圧の上昇現象についてはハロゲン化金銀蒸気放電にするメタルハライドランプにあつてはこの現象は頗るあつて、これは封入ハロゲンとエミッター物質の反応によりエミッターの熱電子放射性が早期に失われるためである。

本発明は上記欠点を改善した構造の電極を得るためのもので、以下実施例により説明する。

第1図は本発明による放電灯用電極構造の断面図であり、(1)はW, Moなどの難燃性金属よりなる切削棒であり、(2)は(1)の外周に巻繞したW, Moなどの難燃性金属よりなるコイルであり(2)の表面並に(1)との間隔には熱電子放射物質が塗布、充填、固定されている(3)。(4)は(2)を塗布充填した(2)の上にW, Moなどの難燃性金属で重ねて巻繞したコイルで、(5)は該コイルの互に接する側面をプラズマアークなどの方法により溶融接着させた部分で放電軸と直角方向には間隙がなく、放電軸方向には(2)と(4)との押入間隙のみ存在すること

(2)

BEST AVAILABLE COPY

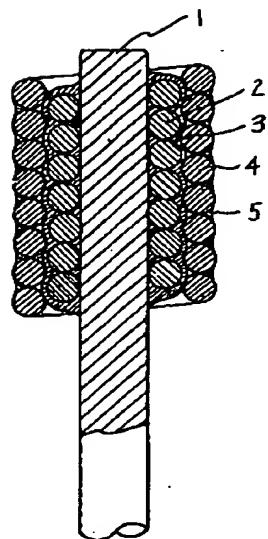
を持微とする構造とする。かかる構造の本発明電極を従来公知の方法にてメタルハライドランプに適用したところ、封入ハロゲンとエミッター物質の反応は極めて少く、数1000時間以上の良好な低放電開電圧特性と発光管の退化現象が起因する光束の低下も極めて少ないことが判明し、従来電極の如く單にエミッター焼石コイルの外部を更にコイルで巻いた構造の電極を比較して格段の改良性を見出した。

図面の圖示を説明

第1図は本発明による電極構造を示す縦断面図である。

代理人 弁理士 梶田利一

第1図



(3)

添附書類の目録

- (1) 図 頁 4 1面
- (2) 図 頁 5 1面
- (3) 仕 出 1面
- (4) 特許登録料 1面

前記以外の発明者、特許出願人または代理人

発明者 東京都青梅市西町888番地
同上 株式会社日立製作所青梅工場内

氏名 成田利一